

平城西中学校区小中一貫教育だより 第3号

平城西中学校・右京小学校・神功小学校

令和3年3月5日

1年間ありがとうございました

3学期も残すところあと2週間あまりとなりました。各校とも今年度の締めくりとなる、この大切な時期を、児童・生徒とともに教職員一丸となって乗り切るべく努力を重ねているところです。

皆様の1年間のご理解・ご協力に心より感謝します。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

新設校の校名について協議しました

昨年12月に、児童・生徒や保護者の皆様にご協力いただき新設校校名の第2回アンケートを実施いたしましたところ、下記のような集計結果となりました。

校区	学校	校名						回収数
		1平城山(ならやま)		2丘の上(おかのうえ)		3桜美(おうび)		
全体	右京小	74	59%	12	10%	39	31%	125
	神功小	92	52%	25	14%	60	34%	177
	平城西中	158	54%	18	6%	117	40%	293
	総計	324	54%	55	9%	216	36%	595

この結果をもとに、2月18日(木)の第11回開校準備委員会において、協議が行われました。

まず、「平城山(ならやま)」という回答が過半数を超えたことから、第1候補として選択するのが最も妥当であるという意見で一致しました。

表記についての議論では、「漢字表記の『平城山』は駅名のイメージが強いと感じる。」「『平城』という字を使った小中学校が多くあり、まぎらわしいのではないか。」「ひらがな表記の方が小学生にも読みやすく、書きやすい。語感が柔らかく親しみがわきやすい。」といった意見が出され、協議の結果、小中それぞれの校名をひらがな表記による『ならやま小学校、ならやま中学校』、通称名を『ならやま小中学校』とすることにしました。あわせて、校名については開校準備委員会からの総意として市教育委員会事務局に報告しました。

今後、奈良市教育委員会や奈良市議会での議決を経て最終決定となっていきます。

また、この日の開校準備委員会では、校歌・校章の選定についても議論されました。今後は、『(仮称)ならやま小中学校』として児童・生徒や保護者、地域の方々にも広く意見を求め、進めていくこととなります。具体的な取組は新年度に入ってからとなりますが、詳細が決まり次第お伝えしてまいりますので、皆様からの積極的な参画をぜひお願いいたします。

小中交流・中学校教員の小学校参観

今年度予定していた右京小・神功小の児童交流は、コロナの影響で実現しませんでした。教職員による小中一貫実務者会等で検討し、オンラインで実施することとなりました。G Suite を使ってそれぞれの学級が自己紹介動画を作成し、視聴し合うというものです。互いの距離を縮めるためのこうした取組を、来年度はさらに積極的に進めていきたいと考えています。オンライン上ではなく、直接交流できるような環境に早く戻って欲しいと願うばかりです。



また、2月22日(月)、24日(水)には、平城西中学校の教員が来年度入学してくる6年生の授業参観を行いました。例年実施しているものですが、学級の雰囲気や児童の様子を中学校教員が事前に知っておくことは、とても大切なことと考えています。

新校舎など建設の進捗をお伝えします

平城西中学校では、新校舎の建築が予定通り着々と進められています。現在、基礎工事が完了し、その上に鉄筋の柱と壁を組む作業が進んでいます。

バンビーホームの建設につきましては、外装がほぼ完了し、これから内装の工事に入ります。3月中旬に完成の予定です。

工事の進捗状況につきましては、平城西中学校のホームページを更新してまいりますので、今後も随時お確かめください。



↑ 建設中の新校舎



↑ 新しいバンビーホーム

第3回メディアセンター開設準備室

2月25日(木)に、新設校図書室(メディアセンター)の開設に向けた3回目の会合を行いました。

今回は、書架の分類区分やレイアウトの決め方、各校の蔵書整理の手順、机・椅子をはじめとした必要備品についての検討など、より具体的な内容を話し合いました。北部図書館の館長さんや司書さんからも積極的な提案をいただき、今後の方向性が見えてきたように感じました。

その中で、「各校の蔵書を持ち寄ることになりますが、本のバーコードに各校の名前が入っているのを、新しい学校名に統一しますか?」という話や、「机と椅子は、新たに購入せず、各校のものを持ち寄りますか?」という話が出てきました。「新設校なのだから全てを新しく」という考えもあるかと思いますが、「あえて元の学校のものをそのまま使う」というのも良いのではないかと意見にまとまりつつあります。昨年度、小学生対象にワークショップが行われた際、「学校の『におい』を感じるものを残して欲しい」と言っていた子がいたことを思い出しました。本を手にとった時、椅子に腰かけた時、ふと以前の学校のことを思い出すというのも、子どもたちにとって大切なことではないでしょうか。